

鹿児島の動物 66

鹿児島の「あおい」カエルたち

脊椎動物担当 渡邊 剛

鹿児島県には現在、外来種も含めると、6科13属21種のカエルが生息しています。今回はその中でも、鹿児島県で見られるアオガエル科のカエル5種を紹介します。

1 あおいカエル「アオガエル」

アオガエル科の「あお」とは、本種の体色に多く見られる鮮やかな緑色のことです。この科のカエルはアフリカとアジアにだけ見られ、カエルの中ではより進化したグループだと考えられています。

特徴として、樹上生活に適した吸盤を指先にもつことや、木の枝や草、土中などに泡状の巣（泡巣）をつくり産卵することなどがあります。



シュレーゲルアオガエルの泡巣と、その中の卵

2 県内に生息するアオガエルのなかま

① シュレーゲルアオガエル

県本土に見られます。体長は3～6cm、鮮やかな緑色です。アマガエルとよく似ていますが、目のまわりに模様がなく、アマガエルよりひと周り大きいことで見分けられます。



シュレーゲルアオガエル

繁殖期のオスは「コロロ」「リリリ」と甲高く鳴きますが、地中で鳴くことが多いため姿を見つけにくいカエルです。なおニホンアマガエルはアマガエル科という別のグループに属するカエルです。



ニホンアマガエル

② アマミアオガエル

奄美群島固有のカエルです。体長は4.5～8cmと、アオガエルのなかまでは最大級になります。体色は緑色で、森林や草地に生息しています。12月～5月の繁殖期には「ルリリリリ」「キヤラララ」などの大きな鳴き声で鳴きます。



アマミアオガエルの抱接

③ カジカガエル

県本土の溪流に生息します。体長3～7cmで、灰褐色で平たい体をしています。メスはオスよりかなり大きくなります。繁殖期である初夏に、オスは「フィーフィー」と鹿のような美しい声で鳴き、その鳴き声は古来より人々に愛されてきました。なお本種は泡巣をつくらないアオガエルです。



カジカガエル

④ リュウキュウカジカガエル

南西諸島に生息する体長2.5～4cmの小型のカエルです。灰褐色や黄色など体色に個体差があります。溪流だけでなく、水たまりや海岸付近でも繁殖し、「フィリリリ」と小鳥のような声で鳴きます。本種も泡巣をつくらないアオガエルのなかまです。



リュウキュウカジカガエル

⑤ シロアゴガエル（特定外来生物）

与論島や徳之島に侵入した特定外来生物のシロアゴガエルもアオガエル科のカエルです。体色は褐色で体長は4.5～7cmと大型です。繁殖力が高いため、在来のカエルへの悪影響が心配されています。



シロアゴガエル

県立博物館では、令和8年3月20日（金）から企画展「かごしま カエル大全集」を開催し、県内のカエル全種について詳しく紹介します。また、「生きた」カエルも多数展示します。ぜひ当館でじっくりと観察して下さい。

